

救急科専門研修プログラム 専門研修施設群一覧



慶應義塾大学病院救急科
救急医学教室

2022 年度

もくじ

基幹施設

東京都	慶應義塾大学病院	P.3
-----	----------	-----

連携施設群

栃木県	栃木県済生会宇都宮病院	P.5
-----	-------------	-----

東京都	東京都済生会中央病院	P.6
-----	------------	-----

	永寿総合病院	P.7
--	--------	-----

	日野市立病院	P.8
--	--------	-----

	立川病院	P.9
--	------	-----

	国立病院機構東京医療センター	P.10
--	----------------	------

神奈川県	川崎市立川崎病院	P.11
------	----------	------

	済生会横浜市東部病院	P.12
--	------------	------

	横浜労災病院	P.13
--	--------	------

	藤沢市民病院	P.15
--	--------	------

	平塚市民病院	P.16
--	--------	------

	川崎市立井田病院	P.19
--	----------	------

埼玉県	国立病院機構埼玉病院	P.20
-----	------------	------

千葉県	東京歯科大学市川総合病院	P.21
-----	--------------	------

熊本県	熊本医療センター	P.22
-----	----------	------

関連施設群

東京都	目白病院	P.24
-----	------	------

	荻窪病院	P.25
--	------	------

基幹施設

慶應義塾大学病院

<http://www.hosp.keio.ac.jp/>

所在地	東京都新宿区信濃町35	
代表電話	03-3353-1211	
二次医療圏	東京都区西部	
病床数	960床	
種別	二次救急医療機関、災害拠点病院	
2015年の診療実績		
救急車搬入患者数	病院全体	8,076名
	救急科が診療した患者数	7,634名 (救命対応 369名)
	救急科が診療後に入院した患者数	980名
	救急科に入院した患者数	171名
	このうちICU等に入院した患者数	144名
救急科診療実績	来院時心肺機能停止患者数	80名
	ショック(収縮期血圧<80mmHg)の患者数	98名
	内因性救急疾患	4,498名
	外因性救急疾患	2,861名
	小児(<15歳)	604名
救急科専門医数	14名	
専攻研修指導医数	8名	
専攻医の環境	初期臨床研修制度基幹型研修指定病院 図書館充実 倫理委員会あり・メンタルストレス対処部署あり ハラスメント委員会あり 女性医師用仮眠室、シャワー室、当直室あり 福利厚生あり、月収(税込)50万円程度	
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1988年に救急部が創設以来ER型救急を一貫して採用しており、大学病院の中で最も多数の患者を扱っているため、様々な救急傷病を軽症から重症まで多数経験できる。 ・ 大学病院のため研究・教育(医学部学生や初期研修医、他職種の研修)の資源が豊富。多数の専攻医が所属し交流できる。 ・ 特定機能病院として高度先端医療が行われている。 ・ 臨床研究や治験等も多数行われている。救急科では多施設共同のRCTを主導予定。 	

慶應義塾大学病院救急科における週間予定表（例）

救急外来（ER）研修の例

時刻目安	月	火	水	木	金	土
07:30			~08:00 夜勤シフト	医局会議		
08:00				入院 カンファレンス 死亡症例報告		症 例 レビュー
09:00	連携施設 B群での 臨床研修			研修医向け レクチャー	腹部エコー 研 修	
10:00				症 例 カンファレンス		日勤シフト 08:00 ~ 17:00
11:00				専門レクチャー		
12:00						
15:00					心エコー 研 修	
17:00	外傷カンファ レンス 18:00~	夜勤シフト 17:00~				
22:00						

週あたりの研修時間

研修種別		週当たり	
診 療	救急外来研修	2シフト	計24時間
	連携施設 B 群研修	1回	計8時間
技術研修	腹部および心エコー	1回	計8時間
会議・カンファレンス・座学			計4時間
合 計			44時間

連携施設

栃木県済生会宇都宮病院

<http://www.saimiya.com/consult/clinical/emergency.html>

所在地	栃木県宇都宮市竹林町 911-1	
代表電話	028-626-5500	
二次医療圏	宇都宮保険医療圏	
病床数	644 床	
種 別	救命救急センター、災害拠点病院	
2015 年の診療実績		
救急車搬入患者数	救急車（ドクターヘリ含む）	5328 名
	救急入院患者	2862 名
	重症救急患者	1191 名
救急科診療実績	心停止	224 名
	ショック	99 名
	内因性救急疾患	3170 名
	外因性救急疾患	456 名
	小児および特殊救急	758 名
救急科専門医数	10 名	
専攻研修指導医数	2 名	
専攻医の環境	初期臨床研修制度基幹型研修指定病院 図書室あり 倫理委員会あり 福利厚生あり	
受入可能なコース	ローテーション研修重視型 1 年目・3 年目 救急部門研修重視型コース	
特 徴	<p>当院は 1981 年から、栃木県の委託をうけて栃木県救命救急センターを運営しており、宇都宮市を中心とした広範な地域の三次救急医療を担っています。さらに、宇都宮市の二次輪番病院としての役割も担っており、重症のみでなく、多様な救急患者を受け入れています。</p> <p>ER には専従の救急医が 24 時間常駐しており、その指導のもとで、豊富な救急症例を経験することができます。</p> <p>集中治療領域では、集中治療医の指導のもと、患者管理を学ぶことができます。</p> <p>DMAT を 3 隊有しており、災害拠点病院としての活動も積極的に行っています。</p>	

連携施設

東京都済生会中央病院

http://www.saichu.jp/department/emergency_clinical_department/

所在地	東京都港区三田 1-4-17	
代表電話	03-3451-8211	
二次医療圏	東京都 区中央部医療圏	
病床数	535 床	
種 別	救命救急センター、災害拠点病院	
2015 年の診療実績		
救急車搬入患者数	病院全体	5508 名
	救急科が診療した患者数	2719 名
	救急科が診療後に入院した患者数	1146 名
	ICU 等に入院した患者数	522 名
	救急科に入院した患者数	377 名
救急科診療実績	来院時心肺機能停止患者数	132 名
	ショック（収縮期血圧<80 mmHg）の患者数	153 名
	内因性救急疾患	7991 名
	外因性救急疾患	1702 名
	小児（<15 歳）	96 名
救急科専門医数	5 名	
専攻研修指導医数	3 名	
専攻医の環境	初期臨床研修制度基幹型研修指定病院 図書館充実、倫理委員会あり メンタルストレス対処部署あり・ハラスメント委員会あり シャワー室、当直室あり、福利厚生あり 月収（税込）38 万円程度 別途、勤務実績に応じた手当（時間外手当、宿日直手当等＋年間賞与）	
受入可能なコース	ローテーション研修重視型 1 年目・3 年目 救急部門研修重視型コース	
特 徴	2011 年度から救急科専門医を中心とした北米型（ER 型）救急医療を展開し、2012 年度から救命救急センターでの救命集中治療および Acute Care Surgery (ACS) を開始した。当科の活躍が期待される ER、ACS、Emergency Intensive Care Unit (EICU) では、オールラウンドな救急診療能力とともに、各領域の専門性を併せ持った救急医によるチーム医療が必要となる。よって当科研修では、傷病の種類や重症度に関わらない総合救急診療能力の獲得を共通のコンポーネントとし、各分野での専門的能力の養成に力を注いでいる。	

連携施設

永寿総合病院

http://www.eijuhp.com

所在地	東京都台東区東上野 2-23-16	
代表電話	03-3833-8381	
二次医療圏	東京都区中央部保健医療圏	
病床数	400 床	
種 別	一般病床（急性期）	
2015 年の診療実績		
救急車搬入患者数	病院全体	救急車搬入患者数
	救急科が診療した患者数	
	救急科が診療後に入院した患者数	
	ICU 等に入院した患者数	
	救急科に入院した患者数	
救急科診療実績	来院時心肺機能停止患者数	救急科診療実績
	ショック（収縮期血圧<80 mmHg）の患者数	
	内因性救急疾患	
	外因性救急疾患	
	小児（<15 歳）	
救急科専門医数	0 名	
専攻研修指導医数	0 名	
専攻医の環境	初期臨床研修制度基幹型研修指定病院 図書館充実 倫理委員会あり メンタルストレス対処部署あり・ハラスメント委員会あり シャワー室、当直室あり 福利厚生あり、月収（税込）80～90 万円程度（時間外・当直料等込、年収 1000～1200 万円位）	
特 徴	人情の街、浅草に近く、江戸落語発祥の地に位置する当院は、東京都台東区の基幹病院として地域のあらゆる医療ニーズに応えうる機能、スタッフを有しています。基幹型臨床研修病院であると同時に慶應義塾大学附属病院の協力型臨床研修病院として、同大からの協力型研修医も受け入れています。新専門医制度においては内科基幹施設となる予定です。臨床現場で大切なコミュニケーションスキルの育成に努め、common disease から、各科専門領域の疾患に渡るまで、質の高い医療が提供できる能力を養う研修プログラムを組んでおります。各上級医との関係も密接であり、また各診療科間の連携も密であり、ストレスのない家庭的な雰囲気の中で、安全に研修できるものと自負しています。	

連携施設

日野市立病院

<http://hospital.city.hino.tokyo.jp/>

所在地	東京都日野市多摩平4-3-1	
代表電話	042-581-2677	
二次医療圏	南多摩医療圏	
病床数	300床	
種別	二次救急医療機関	
2015年の診療実績		
救急車搬入患者数	病院全体	3,132名
	救急科が診療した患者数	668名
	救急科が診療後に入院した患者数	200名
	ICU等に入院した患者数	0名
	救急科に入院した患者数	0名
救急科診療実績	来院時心肺機能停止患者数	33名
	ショック(収縮期血圧<80mmHg)の患者数	5名
	内因性救急疾患	989名
	外因性救急疾患	386名
	小児(<15歳)	0名
救急科専門医数	2名	
専攻研修指導医数	2名	
専攻医の環境	初期臨床研修制度基幹型研修指定病院 図書館完備、インターネット環境あり 倫理委員会あり メンタルストレス対処部署あり・ハラスメント委員会あり 女性医師用仮眠室、シャワー室、当直室あり 福利厚生あり、月収(税込)50~60万程度	
特徴	東京都西部のベッドタウン、人口18万人の日野市の拠点となる二次救急病院です。地域に密着し、「市民に信頼され選ばれる病院」を目指しています。その一環として救急部門を年々充実させており、2016年度からは2名の常勤救急医が赴任します。二次救急病院であり、ICUの設備はありませんが、地域の幅広い救急患者を受け入れ、緊急手術、緊急血液透析、緊急心臓カテーテル治療などを積極的に行う体制が整っています。慶應大学病院からはJR中央線利用で約1時間の距離です。多くの診療科が慶應大学の関連であり、救急診療も約8年前から救急医学教室のスタッフのご協力を頂いています。	

連携施設

国家公務員共済組合連合会 立川病院

<http://www.tachikawa-hosp.gr.jp/>

所在地	東京都立川市錦町 4-2-22	
代表電話	042-523-3131	
二次医療圏	東京都北多摩西部	
病床数	493 床	
種 別	二次救急医療機関	
2016 年度の診療実績		
救急車搬入患者数	病院全体	3009 名
	救急科が診療した患者数	2017 年度救急科開設
	救急科が診療後に入院した患者数	
	ICU 等に入院した患者数	
	救急科に入院した患者数	
救急科診療実績	来院時心肺機能停止患者数	11 名
	ショック（収縮期血圧<80 mmHg）の患者数	18 名
	内因性救急疾患	1879 名
	外因性救急疾患	1239 名
	小児（<15 歳）	973 名
救急科専門医数	1	
専攻研修指導医数	1	
専攻医の環境	初期臨床研修制度基幹型研修指定病院 院内図書館充実、中央図書室（虎ノ門）あり シミュレーション・ラボセンター（虎ノ門）あり 共済医学会 国内留学制度あり 倫理委員会あり シャワー室、当直室あり、病院敷地内に院内保育室併設 福利厚生あり、住宅手当あり（27,000 円/月） 年収（税込）1,300 万円程度（賞与・当直料・時間外手当等を含む）	
特 徴	2017 年度救急科新設 質の高い、患者さんから信頼される救急医療 2017 年 7 月新病院開院、救急外来移転 救急外来 10 床（うち重症 2 床、経過観察 4 床、感染症対応陰圧 1 床） ハイブリッド・トラウマ・ベイを救急室に併設（蘇生処置→CT→X 線透視・血管内治療＋全麻下手術が可能） 小児から高齢者、内科疾患から外傷まで多岐にわたる救急車搬入患者 慶大病院救急科と東海大八王子病院救急科から非常勤医師が勤務 当直明け休日	

連携施設

独立行政法人 国立病院機構 東京医療センター

<http://www.ntmc.go.jp/>

所在地	東京都目黒区東が丘2-5-1	
代表電話	03-3411-0111	
二次医療圏	東京都区西南部	
病床数	740床	
種別	三次救急医療機関、災害拠点病院	
2019年度の診療実績		
救急車搬入患者数	病院全体	6,729名
	三次（救命）救急対応数	1,318名
	救急科入院患者数	1,625名
救急科診療実績	心肺停止患者	359名
	脳神経疾患	134名
	消化器疾患	119名
	循環器疾患	225名
	重篤な代謝障害	22名
	呼吸器疾患	179名
	外傷	185名
中毒	101名	
救急科専門医数	7名	
専攻研修指導医数	5名	
専攻医の環境	初期臨床研修制度基幹型研修指定病院 図書館充実 倫理委員会あり・メンタルストレス対処部署あり ハラスメント委員会あり 福利厚生あり 月収（税込）40万円程度	
特徴	東京都区西南部二次医療圏にあり、病床数740床（救命救急センター28床）の国立病院機構高度専門医療施設、地域災害拠点病院、地域医療支援病院です。臨床研究センターを併設し、敷地内には国立病院機構全国143施設の本部が設置されています。	

連携施設

川崎市立川崎病院

<http://www.city.kawasaki.jp/32/cmsfiles/contents/0000037/37856/kawasaki/>

所在地	川崎市川崎区新川通 12-1	
代表電話	045-233-5521	
二次医療圏	南川崎	
病床数	663 床	
種 別	総合病院	
2015 年の診療実績		
救急車搬入患者数	病院全体	7332 名
	救急科が診療した患者数	6456 名
	救急科が診療後に入院した患者数	3489 名
	ICU 等に入院した患者数	1341 名
	救急科に入院した患者数	1556 名
救急科診療実績	来院時心肺機能停止患者数	400 名
	ショック（収縮期血圧<80 mmHg）の患者数	158 名
	内因性救急疾患	4144 名
	外因性救急疾患	2538 名
	小児（<15 歳）	491 名
救急科専門医数	13 名	
専攻研修指導医数	7 名	
専攻医の環境	初期臨床研修制度基幹型研修指定病院○ 図書館充実○ 倫理委員会あり○ メンタルストレス対処部署あり・ハラスメント委員会あり○ 女性医師用仮眠室○、シャワー室○、当直室○ 福利厚生あり○、月収（税込）45万円程度	
受入可能なコース	ローテーション研修重視型 1 年目・3 年目 救急部門研修重視型コース	
特 徴	①多種多様な救急傷病に対応 ②軽症から重症までに対応 ③663 床のベッド数，200 名の医師数 ④各診療科の救急診療の支援体制の充実 ⑤救急医療は市民の要求度第一位（市による支援体制の充実） ⑥救命救急センター棟新設の計画あり	

連携施設

済生会横浜市東部病院

<http://www.tobu.saiseikai.or.jp/>

所在地	神奈川県横浜市鶴見区下末吉 3-6-1	
代表電話	(045)576-3000	
二次医療圏	横浜北部	
病床数	496 床	
種 別	救命救急センター	
2015 年の診療実績		
救急車搬入患者数	病院全体	4,975 名
	救急科が診療後に入院した患者数	2,283 名
	ICU 等に入院した患者数	761 名
救急科診療実績	来院時心肺機能停止患者数	303 名
	ショック（収縮期血圧<80 mmHg）の患者数	356 名
	内因性救急疾患	10,937 名
	外因性救急疾患	5,588 名
	小児（<15 歳）	9,464 名
救急科専門医数	22 名	
専攻研修指導医数	2 名	
専攻医の環境	初期臨床研修制度基幹型研修指定病院 図書館充実 倫理委員会あり メンタルストレス対処部署あり・ハラスメント委員会あり 女性医師用仮眠室、シャワー室、当直室あり 福利厚生あり	
受入可能なコース	ローテーション研修重視型 1 年目・3 年目 救急部門研修重視型コース	
特 徴		

連携施設

独立行政法人労働者健康福祉機構 横浜労災病院

<http://www.yokohamah.rofuku.go.jp/>

所在地	神奈川県横浜市港北区小机町3211	
代表電話	045-474-8111	
二次医療圏	横浜北部	
病床数	650床	
種別	救命救急センター・災害拠点病院	
2015年の診療実績		
救急車搬入患者数	病院全体	6,930名
	救急科が診療した患者数	
	救急科が診療後に入院した患者数	5,284名
	ICU等に入院した患者数	1,558名
救急科診療実績	来院時心肺機能停止患者数	261名
	ショック(収縮期血圧<80mmHg)の患者数	96名
	内因性救急疾患	916名
	外因性救急疾患	216名
	小児(<15歳)	59名
救急科専門医数	9名	
専攻研修指導医数	4名	
専攻医の環境	初期臨床研修制度基幹型研修指定病院 図書館充実 倫理委員会あり メンタルストレス対処部署あり・ハラスメント委員会あり 女性医師用仮眠室、シャワー室、当直室あり 福利厚生あり、月収(税込)40万円程度	
受入可能なコース	ローテーション研修重視型 1年目・3年目	
特徴	横浜労災病院救命救急センターは、日本有数の都市部にある北米型ERです。幅広く数多くの症例を経験できる環境にあります。	

横浜労災病院 救命救急センター 週間スケジュール例

完全二交代制：一ヶ月間に7日勤7夜勤を行う。月曜と水曜に日勤，木曜に夜勤を行った場合の例。

時	月	火	水	木	金	土	日
	日勤日	休日	日勤日	夜勤日	休日	休日	休日
7:30			症例 カンファレンス				
8:15	外来・入院患者 カンファレンス		外来・入院患者 カンファレンス		外来・入院患者 カンファレンス		
8:45～	救急外来・ 病棟対応		画像・症例 カンファレンス				
12:00	適宜 昼食		適宜 昼食				
12:30～	救急外来・ 病棟対応		救急外来・ 病棟対応				
17:00	外来・入院患者 カンファレンス		外来・入院患者 カンファレンス	外来・入院患者 カンファレンス			
17:30～	帰宅		帰宅	救急外来・ 病棟対応			
				適宜 夕食 適宜 1時間半の 休息			

連携施設

藤沢市民病院

<http://www.city.fujisawa.kanagawa.jp/hospital/>

所在地	藤沢市藤沢2-6-1	
代表電話	0466-25-3111	
二次医療圏	湘南東部	
病床数	530 床	
種 別	救命救急センター 災害医療拠点病院 平塚市救急ワークステーション	
2015年の診療実績		
救急車搬入患者数	病院全体	8,975 名
	救急科が診療した患者数	
	救急科が診療後に入院した患者数	3,156 名
	ICU等に入院した患者数	885 名
救急科診療実績	来院時心肺機能停止患者数	316 名
	ショック（収縮期血圧<80 mmHg）の患者数	59 名
	内因性救急疾患	14,200 名
	外因性救急疾患	5,574 名
	小児（<15歳）	15,271 名
救急科専門医数	4 名	
専攻研修指導医数	2 名	
専攻医の環境	初期臨床研修制度基幹型研修指定病院 図書館あり 倫理委員会あり メンタルストレス対処部署あり（市役所内）・ハラスメント委員会なし 女性医師用仮眠室なし、シャワー室あり、当直室あり（女性用あり） 福利厚生あり	
受入可能なコース	ローテーション研修重視型 1年目・3年目	
特 徴		

連携施設

平塚市民病院

<http://www.hiratsuka-city-hospital.jp/>

所在地	神奈川県平塚市南原 1-19-1	
代表電話	0463-32-0015	
二次医療圏	湘南西部	
病床数	410 床	
種 別	二次救急医療機関 災害医療拠点病院 平塚市救急ワークステーション	
2015 年の診療実績		
救急車搬入患者数	病院全体	6624 名
	救急科が診療した患者数	3449 名
	救急科が診療後に入院した患者数	1143 名
	ICU 等に入院した患者数	135 名
	救急科に入院した患者数	71 名
救急科診療実績	来院時心肺機能停止患者数	97 名
	ショック（収縮期血圧<80 mmHg）の患者数	32 名
	内因性救急疾患	2037 名
	外因性救急疾患	820 名
	小児（<15 歳）	396 名
救急科専門医数	3 名	
専攻研修指導医数	2 名	
専攻医の環境	初期臨床研修制度基幹型研修指定病院 図書館あり 倫理委員会あり メンタルストレス対処部署あり（市役所内）・ハラスメント委員会なし 女性医師用仮眠室なし、シャワー室あり、当直室あり（女性用あり） 福利厚生あり、月収（税込）90 万円程度	
受入可能なコース	ローテーション研修重視型の希望者を優先。 ローテーション研修重視型 1 年目・3 年目 救急部門研修重視型コース	
特 徴	『ER 診療』、『救急・集中治療』、『救急外科』を3つの軸としています。 ・ 『ER 診療』：平日午前 7 時～午後 11 時まで救急科医師が ER に常駐し、内因性、外因性を問わず、軽症から重症まで受け入れています。応需率は 98.1%（2015 年）で、多種多様な疾患、手技を経験できます。 ・ 平塚市救急ワークステーションによる病院前診療を行っています。 ・ 『救急・集中治療』：敗血症、ARDS、ショック、急性中毒、心肺停止蘇生後症候群などの重篤な疾患に対し、救急病棟にて集中治療を行っています。 ・ 『救急外科』：外科と連携し acute care surgery (emergency general surgery / trauma surgery / surgical critical care) に取り組んでいます。熱傷の外科治療ならびに全身管理も行っていきます。	

平塚市民病院救急科における週間スケジュール（例）
 ロータクション研修重視型（救急科ローテーション中）

時間	月	火	水	木	金	土	日
7	ER 勤務 早番	ER 勤務 早番	救急 病棟 勤務	ER 勤務 遅番	ER 勤務 遅番	病棟回診／当番制 （必要に応じて）	
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18	画像読影	症例（ER）	入院患者				
19	カンファレンス	カンファレンス	カンファレンス				
20							
21							
22							
23							

他に、ひらつかER事例検討会；年2回
 他診療科ローテーション中は、配属される診療科により異なる。

週あたりの研修時間

研修種別		週あたり	
診療	救急外来研修	4シフト	計 32時間
	病棟研修	1シフト	計 8時間
カンファレンス		3回	計 6時間
合計			46時間

平塚市民病院救急科における週間スケジュール（例）
救急部門研修重視型（外科研修希望）

時間	月	火	水	木	金	土	日
7						病棟回診／当番制 (必要に応じて)	
8	術後・新入院カンファレンス						
9	手術 もしくは 病棟勤務	手術 もしくは 病棟勤務	手術 もしくは 病棟勤務	手術 もしくは 病棟勤務	外科外来 勤務		
10							
11							
12							
13					手術 もしくは 病棟勤務		
14							
15							
16							
17							
18		術前		消化器 cancer			
19		カンファレンス		board/M&M			
20							
21							
22							
23							

週あたりの研修時間

研修種別		週あたり	
診療	手術もしくは病棟	4.5 シフト	計 36時間
	外科一般外来	0.5 シフト	計 4時間
カンファレンス		7回	計 9時間
合計			49時間

連携施設

川崎市立井田病院

<http://www.city.kawasaki.jp/33/cmsfiles/contents/0000037/37855/ida/jushin/kyuukyuu.html>

所在地	神奈川県川崎市中原区井田 2-27-1	
代表電話	044-766-2188	
二次医療圏	川崎南部	
病床数	343 床	
種 別		
2015 年の診療実績		
救急車搬入患者数	病院全体	3000 名
	救急科が診療した患者数	1000 名
	救急科が診療後に入院した患者数	650 名
	ICU 等に入院した患者数	25 名
	救急科に入院した患者数	0 名
救急科診療実績	来院時心肺機能停止患者数	40 名
	ショック（収縮期血圧<80 mmHg）の患者数	120 名
	内因性救急疾患	800 名
	外因性救急疾患	200 名
	小児（<15 歳）	25 名
救急科専門医数	1 名	
専攻研修指導医数	0 名	
専攻医の環境	初期臨床研修制度基幹型研修指定病院 図書館充実 倫理委員会あり メンタルストレス対処部署あり・ハラスメント委員会あり 女性医師用仮眠室、シャワー室、当直室あり 福利厚生あり、月収（税込）50 万円程度	
特 徴	当院はかわさき総合ケアセンターを併設し、緩和ケアや往診診療を行っている。 地域における在宅医療を推進するため、予め登録した近隣の開業医と 24 時間連携を結び、病状が急変した際には救急センターにていつでも受け入れることにしている。	

連携施設

独立行政法人国立病院機構埼玉病院

<http://saitama-hospital.jp/>

所在地	埼玉県和光市諏訪2-1	
代表電話	048-462-1101	
二次医療圏	埼玉県南西部保健医療圏	
病床数	350床	
種別	一般	
2015年の診療実績		
救急車搬入患者数	病院全体	3,387名
	救急科が診療した患者数	3,387名
	救急科が診療後に入院した患者数	1,230名
	ICU等に入院した患者数	290名
	救急科に入院した患者数	0名
救急科診療実績	来院時心肺機能停止患者数	60名
	ショック(収縮期血圧<80mmHg)の患者数	122名
	内因性救急疾患	4,657名
	外因性救急疾患	2,203名
	小児(<15歳)	10,084名
救急科専門医数	0名	
専攻研修指導医数	0名	
専攻医の環境	初期臨床研修制度基幹型研修指定病院 図書館充実 倫理委員会あり メンタルストレス対処部署あり・ハラスメント委員会あり 女性医師用シャワー室あり 福利厚生(社会保険、労働保険)あり(常勤の場合) 月収例 1回50,000×4回=200,000円(税込み)	
特徴	日中の救急車対応で研修を積みます	

連携施設

東京歯科大学市川総合病院

<http://www.tdc.ac.jp/hospital/igh/>

所在地	千葉県市川市菅野5-11-13	
代表電話	047-322-0151	
二次医療圏	東葛南部	
病床数	570床	
種 別	一般	
2015年の診療実績 ※平成26年度実績		
救急車搬入患者数	病院全体	5782名
	救急科が診療した患者数	名
	救急科が診療後に入院した患者数	名
	ICU等に入院した患者数	名
	救急科に入院した患者数	名
救急科診療実績	来院時心肺機能停止患者数	名
	ショック(収縮期血圧<80mmHg)の患者数	名
	内因性救急疾患	名
	外因性救急疾患	名
	小児(<15歳)	名
救急科専門医数	1名	
専攻研修指導医数	0名	
専攻医の環境	<ul style="list-style-type: none"> ・初期臨床研修制度基幹型研修指定病院です。 ・研修に必要な図書室とインターネット環境があります。 ・東京歯科大学市川総合病院常勤医師として労務環境が保障されています。 ・メンタルストレスに適切に対処する部署(庶務課)があります。 ・ハラスメント防止対策委員会が大学に整備されています。 ・女性専攻医が安心して勤務できるように、休憩室、更衣室、仮眠室、シャワー室、当直室が整備されています。 ・敷地内に院内保育所があり、利用可能です。 	
特 徴	日中の救急車対応で研修を積みます	

連携施設

国立病院機構 熊本医療センター

<http://www.nho-kumamoto.jp/>

所在地	熊本市中央区二の丸1-5	
代表電話	096-353-6501	
二次医療圏	熊本	
病床数	550床（一般500床+精神50床）	
種 別		
2015年の診療実績		
救急車搬入患者数	病院全体	7,844名
	救急科が診療した患者数	7,844名
	救急科が診療後に入院した患者数	4,663名
	ICU等に入院した患者数	2,335名
	救急科に入院した患者数	1,125名
救急科診療実績	来院時心肺機能停止患者数	203名
	ショック（収縮期血圧<80 mmHg）の患者数	179名
	内因性救急疾患	11,369名
	外因性救急疾患	3,844名
	小児（<15歳）	2,499名
救急科専門医数	9名	
専攻研修指導医数	4名	
専攻医の環境	<ul style="list-style-type: none"> ・医局はほぼ全医師（約200名）が同じフロアにおりオープンな環境です。1人1つのデスクが貸与されます。PCあれば、インターネット接続可能です。UpToDate、メディカルオンライン、Proquestや、各種オンライン雑誌と契約しており、契約範囲内で自由に文献閲覧することが可能です。見つからない場合にも図書室から他施設からコピーを取り寄せることができます（有料）。 ・仮眠室、シャワー室あり。 ・医師宿舎は初期研修医用のみですが、空室あれば検討しますのでご相談ください。 	
特 徴	<ul style="list-style-type: none"> ・熊本県には3つの救命救急センターがありますが、当院はそのうちの1つです。熊本城内（熊本市中心部）にあり、熊本市内と熊本県北部（有明・山鹿・菊池医療圏）がカバーするエリアとなります。33の標榜診療科を有し、24時間365日体制で全診療科断らない救急医療を実践しています。特に精神科病床を有する県内唯一の救命救急センターであり、精神科身体合併症救急患者が多いのが特徴です。 ・救急外来では救急科が中心になって全科協力の下、初期診療が行われます。診断結果に応じて当該診療科での入院となりますが、複数診療科にまたがるような重症患者や総合診療を要する患者は救急科入院となります。原則、退院（または転院）まで主担当医として診療を行います。 	

国立病院機構熊本医療センター 救命救急・集中治療部 週間スケジュール

	月	火	水	木	金
8:00	新入院カンファレンス				
8:30	ER 朝ミーティング				
8:30	ER カンファレンス (症例検討など)				
11:00	回診	退院支援 カンファレンス 回診	カンファレンス		退院支援 カンファレンス 回診
14:00				回診	
14:45				病棟 カンファレンス	
17:15	夜勤引継 ER 振り返り				
18:30			救急症例検討会 (7回/年)		

関連施設

目白病院

<http://mejirohp.jp/>

所在地	東京都新宿区下落合3-22-23	
代表電話	03-3953-9909	
二次医療圏	東京都 区西部医療圏	
病床数	100 床	
種 別	二次救急医療機関	
2015年の診療実績		
救急車搬入患者数	病院全体	4598名
	救急科が診療した患者数	4598名
	救急科が診療後に入院した患者数	966名
	ICU等入院した患者数	453名
	救急科に入院した患者数	513名
救急科診療実績	来院時心肺機能停止患者数	25名
	ショック（収縮期血圧<80 mmHg）の患者数	49名
	内因性救急疾患	2940名
	外因性救急疾患	2861名
	小児（<15歳）	50名
救急科専門医数	3名	
専攻研修指導医数	0名	
専攻医の環境	東京都指定二次救急医療機関 日本救急医学会救急専門医指定施設 東京ルールにおける地域医療センター固定型施設 東京都急性期脳卒中認定医療機関 日本脳卒中学会認定研修教育病院	
特 徴	救急に特化した救急医療機関 各科常勤専門医が24時間365日待機し、夜間休日にも緊急手術を行っている。	

関連施設

医療法人財団 荻窪病院

<http://www.ogikubo-hospital.or.jp>

所在地	東京都杉並区今川3丁目1-24	
代表電話	03-3399-1101	
二次医療圏	区西部	
病床数	252床	
種別	二次救急医療機関	
2015年の診療実績		
救急車搬入患者数	病院全体	4,447名
	救急科が診療した患者数	593名
	救急科が診療後に入院した患者数	235名
	ICU等に入院した患者数	23名
	救急科に入院した患者数	0名
救急科診療実績	来院時心肺機能停止患者数	22名
	ショック(収縮期血圧<80mmHg)の患者数	7名
	内因性救急疾患	6,316名
	外因性救急疾患	2,336名
	小児(<15歳)	173名
救急科専門医数	0名	
専攻研修指導医数	0名	
専攻医の環境	初期臨床研修制度基幹型研修指定病院 図書館あり・倫理委員会あり・ハラスメント担当あり	
特徴	<p>荻窪病院は、急性期医療を担い歩み続けて80年を迎えます。</p> <p>地域の中核病院として歴史を重ねる中、24時間365日の救急体制、災害拠点病院としての責務、地域連携を円滑に行う役割、後進の教育など、幅広く地域医療の活性化に努めて行こうとしております。</p> <p>「225床であっても、400床の病院以上の地域貢献を目指す」ことをスローガンとして掲げ、確かな技術とチームワークで質の高い医療を効率よく提供し、地域の便りになれる中核病院を目指しております。</p> <p>年間1万人を超える救急患者が訪れ、年間4,000件以上の救急搬送を受け入れておりますが、平成28年4月から脳神経外科医師が常時就任することにより、これまで受入が困難であった頭部疾患の分野も対応ができるようになり、今後も地域のクリニック、住民、院内の医師及びスタッフと協調しながら、受け入れられる疾患を広げ、幅広く患者を受け入れる町の保健室の役割と病院と社会をつなぐ接点としての機能を担っていく病院を目指しております。</p>	

